

令和2年度第5回摂津市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画推進審議会
(令和3年3月22日開催)
委員からのご意見・ご質問とその回答

(1) 審議会ご意見・ご質問

ご意見・ご質問

介護ボランティアポイント制度のようなものを取り入れてはどうか。

【対応】 介護事業者でのボランティアについて、健幸マイレージポイントを付与する方向であり、介護保険事業者連絡会の総会時に、その旨の周知を行っています。新型コロナウイルスの普及が進み次第、具体的な打ち合わせを行います。

また、現在、摂津市社会福祉協議会が中心となり、「ちょこっとサービス」の検討を行っています。「ちょこっとサービス」は、掃除など、生活のちょっとした支援を行う有償ボランティアになります。今年度、モデル地域での試行的な実施において、調整を行っています。

ご意見・ご質問

摂津市にあるボランティアの地域資源は、どこにどれぐらいあるのか。

【対応】 摂津市ボランティアセンターに登録されている団体の一覧を別紙の通り配付しています。個別のボランティアの内容については、摂津市ボランティアセンターまでお問い合わせください。

(摂津市ボランティアセンター電話番号) 06-6318-1128

また、摂津市ボランティアセンターのホームページで、ボランティアセンター登録団体の一覧を掲載しています。

(摂津市ボランティアセンターURL) http://www.settusisyakyou.or.jp/v_center.htm

ご意見・ご質問

介護の仕事に携わる方を支援する仕組みづくりを行うべきでないか。

【対応】 令和3年度中に、市内のケアマネジャーの相談や困難事例に直接対応する仕組みを構築します。また、解決事例について、相談者の了解が得られたものについては、個別情報が判別できないかたちで「てきせいか定期便」に掲載し、情報共有を図ります。

ご意見・ご質問

生活支援コーディネーター等、既存のものをより活性化させていく取組を考えていただきたい。

【対応】 令和3年の7～8月頃に、「せつつ医療・介護つながりネット」のデザイン改修を行う予定で

す。改修後は、市民向けのお知らせを掲載できるようになる予定のため、こうした媒体を活用し、既存の取組についても発信していくことで、周知を行い、活用や参加を促します。

また、第2層の生活支援コーディネーターのSNS（フェイスブック、インスタグラム）についても、随時更新をし、情報の発信を行います。

(フェイスブック)



(インスタグラム)



ご意見・ご質問

「地域包括支援センターについて『知っている』と答えた人の割合について、令和5年度の目標値を22.5%としているが、大阪府の平均と比べて多いのか、それとも少ないのか。

【対応】 本設問は、本市の独自のアンケート項目となっているため、同一条件で比較ができる対象がありません。ただし、令和元年度に大阪府が実施した「高齢者の生活実態と介護サービス等に関する意識調査」では、地域包括支援センターについて「知っており、利用・相談したことがある」「知っているが、利用・相談したことはない」と回答した割合が39.4%となっています。

設問内容や調査対象年齢が異なるため、単純な比較はできないものの、大阪府平均よりは少ないものと考えます。

そのため、周知を行い、認知度向上に努める必要があると考えています。

※大阪府の調査では、調査対象者が65歳以上となっています(摂津市の調査では50歳以上)。

また、上記の選択肢の他、下記の選択肢があります。

「名称を聞いたことはあるが、何をしているところかは知らない」「まったく知らない」

ご意見・ご質問

「人生の最終段階における医療・療養について『話し合っている』と答えた人の割合について、令和5年度の目標値を39.5%としているが、多い方なのか、それとも少ない方なのか。

【対応】 本設問は、本市の独自の設問となっているため、同一条件で比較をできる対象がありません。ただし、過去に行われた全国規模の調査にはなりますが、「平成29年度人生の最終段階における医療に関する意識調査」では、一般国民で「話し合っている」と回答した割合は39.5%となっています。また、第8期計画策定にかかる調査では、近隣市では下記のような割合となっています。

(参考) 吹田市：41.4%、茨木市：46.8%

調査時点や調査対象年齢が異なるため、単純な比較はできませんが、本市での現状の割合(31.6%)がこれらの値より低いことから、全国調査の割合である39.5%を目標値としています。

ご意見・ご質問

地域ケア会議の定義をはっきりさせるべきだと思う。

【対応】 摂津市での地域ケア会議については、下記のようにしております。

○個別ケース会議

個別レベルの地域ケア会議で、高齢者個人の課題解決を図るとともに、そのプロセスにおいて、地域住民と専門職のネットワークを育むことを目指した会議。

○ケアマネジメント支援会議

摂津市内の介護支援専門員が対象者へのアセスメント力を高め、自立支援に資するケアマネジメント支援の向上を図るとともに、地域包括支援センターと居宅介護支援事業所等の主任ケアマネジャーが連絡・協働し、摂津市内におけるケアマネジャー支援体制の強化を図ることを目的とした会議。

○各中学校区全体会議

個別ケース会議やケアマネジメント支援会議の積み重ねから発見される地域の課題について整理し、解決策の検討を行う会議。

また、高齢者の暮らしを応援するための情報共有や話し合いの場として「暮らしの応援協議会」があります。

複数の会議があることから、第8期計画期間中に地域ケア会議のあり方について改めて整理をし、効果的な実施に向けた検討を行います。

ご意見・ご質問

支援や配慮を必要とする人は高齢者だけではなく、障がい者、生活困窮者、子どものいる世帯等、さまざまである。部局をこえて、支援や配慮を必要とする人を支える仕組みが必要である。

【対応】 地域包括ケアシステムの中核を担う地域包括支援センターや、令和2年度に開設した子育て世代包括支援センター、生活困窮者を対象とした自立支援制度など、一人ひとりの抱える様々なニーズに対し、必要な支援を包括的に提供するための機関の設置や取組を行っています。

今後も、改正社会福祉法において示された重層的支援体制の整備を含め、包括的な相談支援の体制づくりを行ってまいります。

ご意見・ご質問

審議会で審議されていることが市民に浸透していないと感じる。

【対応】 審議会の議事録や資料について、今年度から、可能な範囲で市ホームページに掲載することを予定しております。また、上述したとおり、「せつつ医療・介護つながりネット」の市民向けのお知らせを活用する等、取組の発信に努めます。

ご意見・ご質問

地域包括支援センターの認知度の向上について、「困ったことがあったらご相談ください」というステッカーの配付や、広報車で周知をする等の取組みを行うのもよいのではないかと。

【対応】 公用車に地域包括支援センターに関するマグネットステッカーを貼る等の方法で、認知度向上を図ってまいります。

ご意見・ご質問

他市では、一人暮らしの高齢者が倒れた際に、地域包括支援センターの職員が来て、家族に連絡をくれた。その市では、地域包括支援センターの職員が地域を周っているとのことであった。地域包括支援センターの職員が地域を周ることが出来れば、地域包括支援センターの周知も行えるのではないかと。

【対応】 摂津市では、社会福祉協議会のライフサポーターが定期的にひとり暮らし登録をしている高齢者の家を訪問しています。また、同じくライフサポーターが、75歳に到達する人のうち、介護認定等を受けておらず市の関わりのない人の家を訪問し、高齢福祉サービスや地域包括支援センター等の案内を行っています。

引き続き、ライフサポーターとも十分な連携を図りながら、地域包括支援センターが高齢者の支援を行うことが出来るようにしてまいります。